

財団案内



目次

1. 理事長メッセージ
2. 財団概要
3. 役員等一覧
4. 当財団の事業内容
5. 年間募集期間
6. 応募要領
7. 助成実績

1. 理事長メッセージ

いま、私たちは「時代の大きな転換期」に向きあっています。

私たちは現在、大震災や原発事故、世界的な経済の混乱、格差と不均衡、医療や福祉の壁、教育や文化・社会の閉塞感など、実に多くの難しい問題に直面しています。

それらの課題を解決し、世の中を少しでも明るい方向に前進させてゆくためには、そのどれ一つをとっても、これまでにない全く新しい発想や取組が求められているように思われます。

私たちの財団は、小川の「せせらぎ」のように誠にささやかな規模ですが、社会の各分野において、課題に挑戦し、困難な状況を改革、改善しようと努力されているさまざまな「先進的な取組」を発掘し、ご支援申し上げようと考え、設立いたしました。

理事長 村上 愛三

2. 財団概要

名称	一般財団法人 財団せせらぎ
設立	2013年12月25日
法人格	一般財団法人
目的	この法人は、学術・教育、社会福祉、健康・医療、文化・芸術などの各分野において、先進的な取組を進めようとしている個人や団体を発掘し、助成することによって、社会に寄与、貢献することを目的とする。
基本財産	1億円

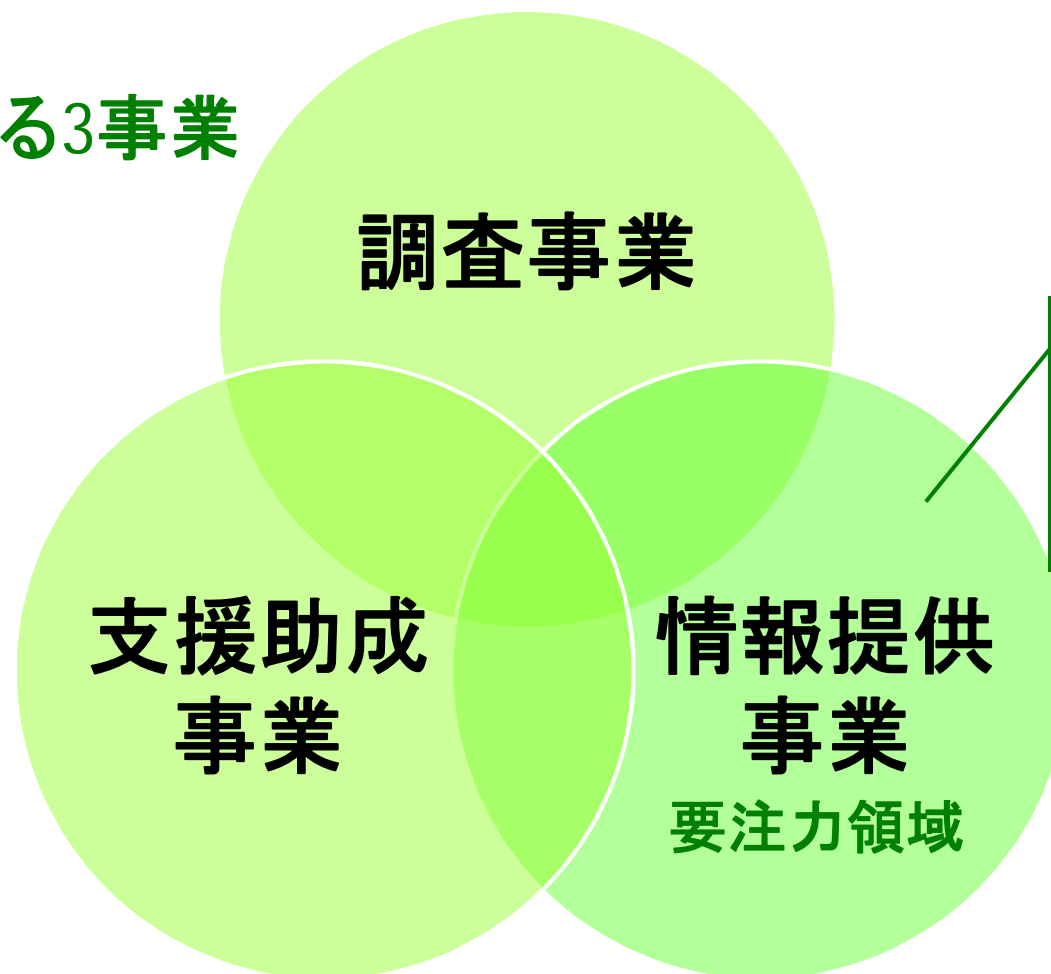
3. 役員等一覧

理事	村上 愛三(弁護士) 尾形 純一(元 公益財団法人理想教育財団 事務局長) 遠山 智一(専修大学入学センター)
監事	高橋 幸雅(税理士)
評議員	阿部 泰 涌井 智子(東京都健康長寿医療センター研究所) 土居 克典 村上 美子(言語聴覚士)
専門委員 (評価委員)	学術・教育分野 徳永 幸生(芝浦工業大学名誉教授) 社会福祉分野 安保 直子(言語聴覚士) 健康・医療分野 文化・芸術分野
事務局	事務局長 村上 隆平 事務局次長 村上 協平

4. 当財団の事業内容(1/2)

当財団は、以下の3事業から構成されております

当財団の掲げる3事業



設立間もない当財団の認知度向上のためには、財団ホームページを通じた情報提供が重要となるため、情報提供事業に注力する。

4. 当財団の事業内容(2/2)

調査事業

全役員の人脈を活用して、支援、助成の対象となるさまざまな個人、団体を発掘する。また、「健康・医療分野」および「文化・芸術分野」の専門委員(評価委員)を任命する。

支援助成事業

当財団の理念に合致すると認められた個人または団体に対し、必要に応じて専門委員(評価委員)にも諮った上で、助成金を支給する。なお、今年度の支給件数は24件を目標とする。

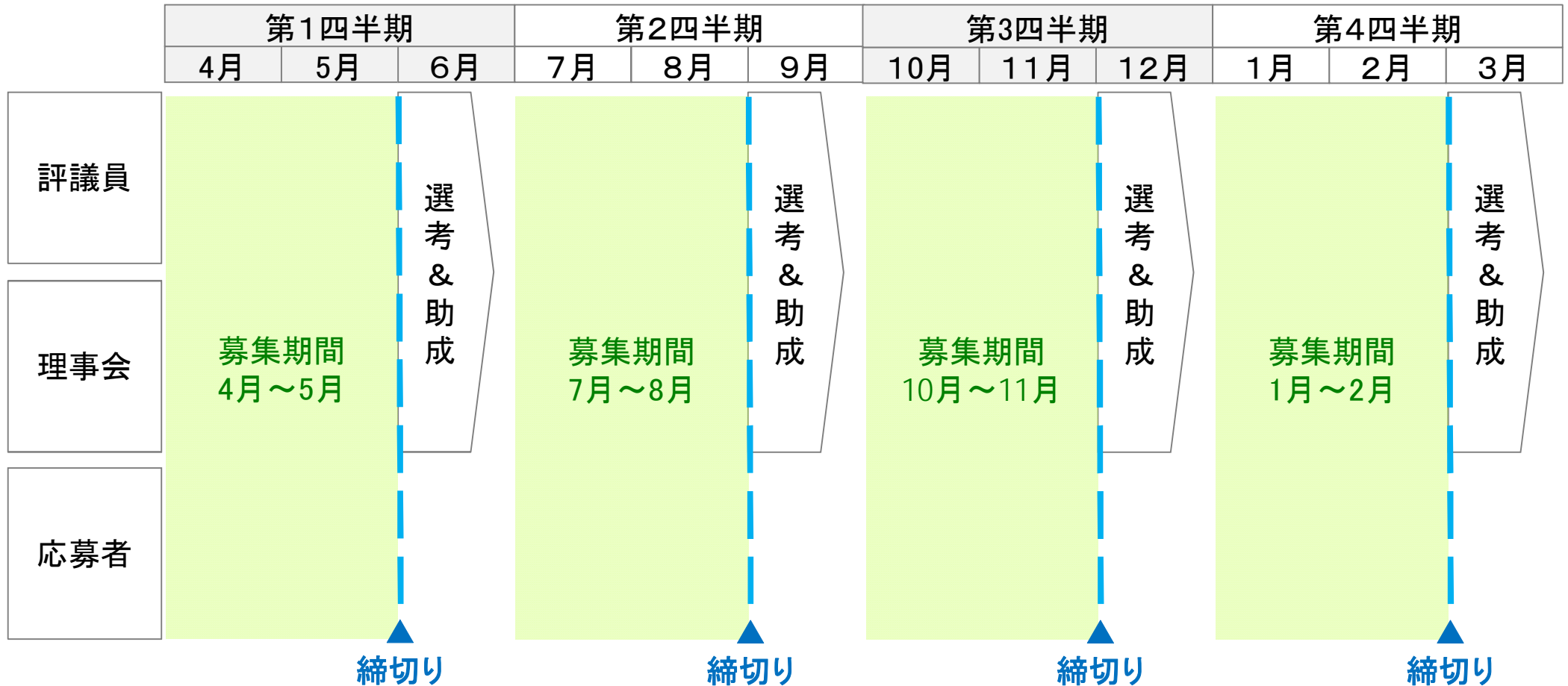
情報提供事業

財団ホームページにおいて、支援、助成対象者の提出する成果報告書を逐次掲載するとともに、「事務局だより」を定期的に更新することにより、当財団の理念および活動状況を広く世に伝える。

5. 年間募集期間

年4回に分けて募集しています

<年間スケジュール>



6. 応募要領

募集人数	6名程度(各四半期)
給付金額	年額50万円を限度とします。 なお、本助成金は贈与であり、残余金が発生した場合であっても、原則として返却する必要はありません。
給付期間	給付決定日から1年間
応募資格	当財団の活動目的に合致する明確な研究、調査又は事業を行う団体又は個人
応募手順	以下の当財団の募集受付用メールアドレス宛に、下記の①から③までの応募書類を添付したメールを送信してください。 応募書類 ①助成金給付申込書 ②経歴書 ただし、大学等の団体に所属している場合には所属証明書を提出して下さい。 ③研究等計画書 募集受付用メールアドレス: mail@seseragi-foundation.jp
お問い合わせ	お問い合わせフォーム もしくは メールアドレス mail@seseragi-foundation.jp までお問い合わせください。

7. 助成実績(平成25年度)

平成25年度は以下の2名に助成しました

四半期	支給対象者		研究等の課題
第4四半期	法政大学大学院 人間社会研究科 人間福祉専攻	安保 直子	未だ制度として確立していない失語症をもつ人への意思疎通支援について、現状の問題点と課題を探り、更に先駆的取組をしている英国の支援モデルを調査し、支援の在り方を研究課題とする。
第4四半期	京都大学大学院 人間・環境学研究科	小川 仁	17世紀コロナ家にみられる日本情報獲得ネットワークの解明 —コロナ文書館新出史料を通して—

7. 助成実績(平成26年度 第1四半期)

平成26年度は第3四半期時点で、以下の21名の各団体または個人に助成しました

四半期	支給対象者		研究等の課題
第1四半期	NPO法人	被災地支援団体 あおぞらん	「被災地支援活動」に関する社会学的一考察 ～宮城県・福島県での支援活動を事例に～
第1四半期	社会福祉法人	シルヴァーウイング	地域社会貢献を目的とし、障害者を対象とする奨 学金制度の新設
第1四半期	総合研究大学院大学 博士後期課程	秋山 かおり	太平洋戦争下のハワイ・ホノウリウリ抑留所の全体 像ならびに日系人の強制収容への新視点
第1四半期	明治学院大学 非常勤講師	春日 清孝	地域活性化と子どもの生育環境整備 —沖縄県読谷村、鳥取県米子市淀江町、岐阜県白 川村の実践から—
第1四半期	専修大学大学院 博士後期課程	勝田 浩令	イングランド中西部の方言研究
第1四半期		立川技術経営研究所	情報社会とイノベーションに関する研究

7. 助成実績(平成26年度 第2四半期)

四半期	支給対象者		研究等の課題
第2四半期	社会福祉法人 ケアネット	やよいほうむ	社会福祉施設運営における、災害時二次避難所運営の方法について
第2四半期	公益社団法人	日本雪氷学会 北海道支部	体験型雪氷教育活動「雪氷楽会」を通じた青少年の環境理解と防災力の向上
第2四半期	京都大学大学院 医学研究科社会健康 医学系専攻 健康情報学分野 博士後期課程	市川 佳世子	子どもの精神発達に影響する児童虐待の世代間連鎖を断つための保護的因子の解明
第2四半期	専修大学大学院文学 研究科 博士後期課程歴史学 専攻	高橋 則雄	パリ・コムニオン期教育運動における民衆の歴史的位相について
第2四半期	京都造形芸術大学 非常勤講師	旦部 辰徳	大正期文学における〈部屋〉の表象—「生活改善運動」との関係から
第2四半期		volcanoise	「美術館ロッジ」プロジェクト
第2四半期	京都大学大学院 人間・環境学研究科 博士後期課程二年	宇佐美 達朗	哲学史的な文脈に照らしたジルベール・シモンドンの個体化論の研究

7. 助成実績(平成26年度 第3四半期)

四半期	支給対象者		研究等の課題
第3四半期	専修大学大学院	呼日楽巴囃 (フルルバト)	アメリカ英語の会話における他者開始修復のイントネーション
第3四半期	NPO法人	札幌オオドオリ大学	札幌市民を対象とした厳冬期防災キャンプの実験的实施
第3四半期	関西大学 文学部 非常勤講師	鯖江 秀樹	過去はいかに展示されるか ——ミラノ万博(2015)における歴史表象の問題
第3四半期	京都大学院医研究科 人間健康科学系専攻 助教	千葉 陽子	わが国における子育て始期の母親への医療サービスの現状把握 —産後医療システムの充実に向けて
第3四半期		全員参加型社会実現のための政策研究会	・2020年東京オリンピックに向けて 製造業・建設業における技術・技能職の女性活躍」調査研究 ・ダイバーシティ推進企業へのヒアリング活動
第3四半期	駒澤大学 非常勤講師	武山 梅乗	園芸療法、園芸福祉のコミュニティにおける意義と課題、可能性
第3四半期	京都大学院人間・環境 研究科 博士後期課程	井岡 詩子	ジョルジュ・バタイユにおける「生の追求」に関する研究 ——幼児性・悪・窮乏のモチーフをめぐって——
第3四半期	専修大学大学院 博士後期課程歴史学 専攻	奥田 真結子	「文化的仲介者」としてのピーテル=ブリューゲル —農民・周縁集団の描写から見る社会の変容と画家の意思—



END File